

週刊報告 2018年1月第1号 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23

対象期間：1/4(木)、1/5(金)

・1/4(木)

今年の株価、北朝鮮の新年メッセージ、2015年日韓合意について、トランプ大統領とバノン氏、ローマ法王メッセージ、平昌オリンピック中の米韓合同軍事演習の回避などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検討・検証を行いました。特に問題となるような箇所は見られませんでした。また、番組全体での報道のスタイルについて検証者の所感を記しました。

・1/5(金)

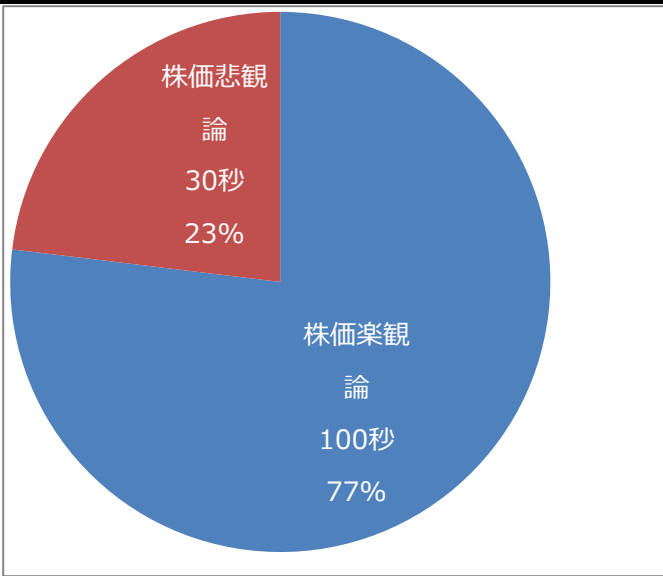
経済界新年祝賀会と賃上げ・働き方改革、立行司が若手行司にセクハラ、築地市場で最後となるクロマグロの初競り、朝鮮半島情勢、安倍首相が俳優らとの会食で日本文化発信の意向などについて報じられました。経済界新年祝賀会と賃上げ・働き方改革、朝鮮半島情勢、日本文化の発信については放送法第四条の観点から検討・検証を行いました。特に問題となるような箇所は見られませんでした。また、経済界新年祝賀会と賃上げ・働き方改革については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

週刊報告 2018年1月第1号 詳細版

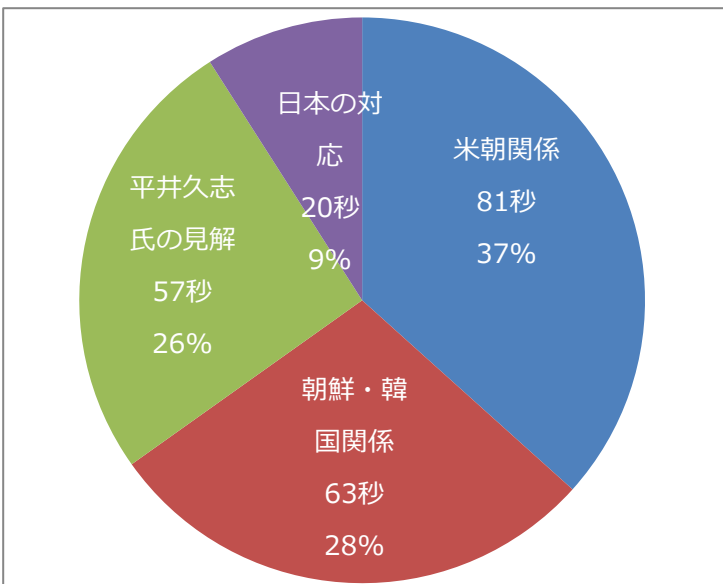
テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年1月4日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：今年の株価、北朝鮮の新年メッセージ、2015年日韓合意について トランプ大統領とバノン氏、ローマ法王メッセージ、平昌オリンピック中の米韓合同軍事演習の回避		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・列島各地で仕事始めと今年の株価 ・貴乃花親方、理事解任 ・北朝鮮の新年メッセージ ・【追跡】行き場のない少女たち ・兵庫県西宮市、市長が記者に「殺すぞ」と発言 ・2015年日韓合意について ・トランプ大統領とバノン氏 ・スパコン開発会社、社長ら再逮捕 ・長崎市内で火災 ・スポーツ報道 ・天気予報 ・原爆投下後の長崎の写真にローマ法王が託したメッセージ ・【速報】平昌オリンピック期間中、米韓合同軍事演習を回避 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・列島各地で仕事始め、今年の株価は 年明け最初の取引となった東京株式市場で、日経平均株価の終値は23506円33銭となり、去年末に比べて740円以上の大幅な値上がりであること、終値で23000円台を回復するのは26年ぶりのこととなることが報じられた。また、今年1年の株価の見通しについては市場関係者の楽観論と悲観論が紹介されるとともに、今年1年の株価の国際情勢リスクとして米朝関係の緊張と中東問題、中間選挙を控える米国ではトランプ大統領がさらに内向な政策を打ち出すことが予想されることが挙げられた。このトピックについて当てられた時間は294秒であり、うち株価の見通しについての楽観論と悲観論の時間配分及び比率は以下の通りであった。 		



なお、安倍政権の経済政策については特に言及されなかったこともあり、今回の報道については放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・北朝鮮の新年メッセージ

北朝鮮で年に一度だけ金正恩の肉声が公開される行事において、アメリカへの牽制と韓国への融和のメッセージが発せられたことが報じられ、北朝鮮に詳しいジャーナリスト平井久志氏の見解も併せて紹介された。このトピックについて当てられた時間は364秒であり、米朝関係、朝鮮韓国関係、平井久志氏の見解、日本の対応それぞれに焦点が当てられた時間配分及び比率は以下の通りである。

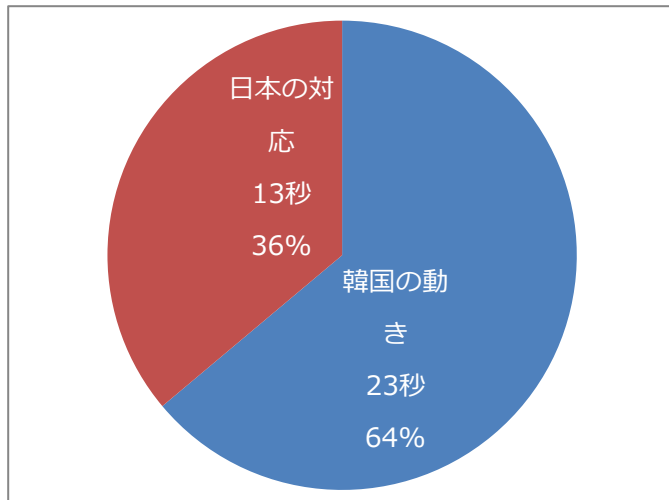


対応を巡った賛否などは論じられず、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・2015年日韓合意

韓国のムン・ジェイン大統領が今日、元慰安婦の女性八人と大統領府で面会し、2015年の日韓合意について真実と正義の原則に外れているとした上で、元慰安婦の意見を聞かずに一方的に押し進めたもので、内容と手続のすべてが間違っていたと謝罪したこと、これに対し日本の外務省は慰安婦問題は日韓合意で最終的かつ不可逆的に解決したとする日本の立場を申し入れ抗議したことが報じられた。

このトピックについて当てられた時間は36秒で、韓国の動き、日本の対応についてそれぞれ報じられた時間配分及び比率は以下の通りである。



今回は報道時間も短く対応を巡った議論などは紹介されなかったこともあり、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・トランプ大統領とバノン氏

バノン氏が近々出版されるトランプ政権の暴露本についてのインタビューをめぐる波紋が広がっていることが報じられた。このトピックについて当てられた時間は133秒だった。

今回は経緯やNEWS23がバノン氏にインタビューを行ったことなどが紹介されるにとどまったため、特に賛否が割れるような報じ方はされていなかった。

・ローマ法王メッセージ

なくなった弟を背負った少年が火葬場で順番を待っているところだとされている原爆投下後の長崎で撮影された写真について、ローマ法王フランシスコは1日までにこの写真に自らのメッセージを添えたカードを配布するように指示したこと、メッセージには戦争が生み出したものとあり核兵器の廃絶を強く訴えるものとなっていることが報じられた。このトピックについて当てられた時間は38秒だった。

特に賛否が別れるような報じ方はされておらず放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・平昌オリンピック中の米韓合同軍事演習の回避

韓国大統領府によりまずとアメリカのトランプ大統領と韓国のムン・ジェイン大統領が電話会談し2月の平昌オリンピック・パラリンピック期間中に米韓合同軍事演習を実施しないことで一致した、との速報だった。この

週刊報告 2018年1月第1号 詳細版

速報に当てられた時間は秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

今日の報道はどれも日本政府の政策への評価や論評・論争との結びつきが極めて弱い報道だった。

週刊報告 2018年1月第1号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年1月5日
----------	------------	---------------

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙
 ゲスト：大畑大介(元ラグビー日本代表)、大竹七未(元なでしこ JAPAN)

検証テーマ：経済界新年祝賀会と賃上げ・働き方改革、朝鮮半島情勢、安倍首相が俳優らとの会食で日本文化発信の意向

報道トピック一覧

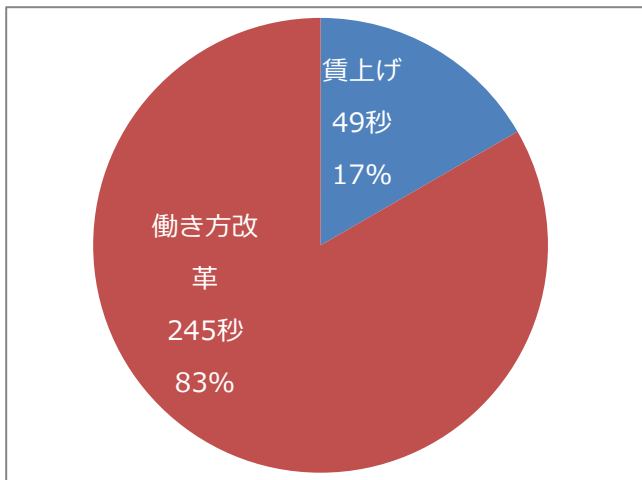
- ・緊急地震速報“過大”で混乱 2つの地震がほぼ同時に起きることで発生するとのこと
- ・西宮市長「殺すぞ」発言で謝罪
- ・立行司が若手行司にセクハラ
- ・築地市場で最後となるクロマグロの初競り
- ・経済界新年祝賀会
- ・白鳳、横審の目の前で「張り手」
- ・北朝鮮から韓国へ電話、2年ぶりに直接対話へ
- ・宇宙飛行士、金井さん ISS から初会見
- ・デンマーク、バーで世界一高価なウォッカボトルが盗難される
- ・スポーツ報道
 高校ラグビーでは大畑大介さんが生解説、高校女子サッカーでは大竹七未さんが生解説
- ・天気予報
- ・安倍首相が俳優らと夕食、日本文化の発信

放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

- ・経済界新年祝賀会と賃上げ・働き方改革について

経済界の新年祝賀会に際して安倍総理からの挨拶で賃上げ要請があったことが報じられた。また経営者に対して賃上げや働き方改革についてインタビューを行うシーンが報じられた。

このトピックについて当てられた時間は325秒であり、賃上げと働き方改革のそれぞれを取り上げた時間配分及び比率は以下の通りである。



「今社長を務めている多くは80年代のバブル期などを駆け抜けてきた世代。自らの身や家庭を顧みず猛烈に働く人は企業戦士と呼ばれ、80年代には24時間戦えますかという言葉が流行語にもなりました。」と経営者の若い頃の事情がナレーションで紹介されたものの、経営者の声は賃上げおよび働き方改革についても総じて好意的なものであった。また、スタジオでは雨宮塔子キャスターが「企業のトップの方たちは社員には新しい働き方を提示しなければならない一方でVTRでも企業戦士という言葉がありましたけれども猛烈に働いてきた世代ですから、時代の変わり目に直面する難しさみたいなものを感じたんでしょうね。」と、星キャスターが「どうやっていいかっていうとまどいはあるんでしょうね。猛烈に働いて売上をガンガン伸ばすという時代は終わったんで、これからはですね価値観を転換してですね、働きやすい職場、女性の働き方を支援する職場とかね、休暇を取りやすい職場って、そういうところに人手不足ですからいい人材はどんどんそっちの方に集まりますからね、その競争になるんですよ。ですからそういう競争をどうやって生き抜くかっていうことがこれからの経営者の腕の見せ所なんですけれど、果たして大丈夫かなっていう気はしますね。」とそれぞれコメントしていた。

賛否が割れるような報じ方はされておらず放送法第四条の観点からも特に問題は見られなかった。

・朝鮮半島情勢

北朝鮮が韓国の提案する高官級会談を受け入れ今月9日におよそ二年ぶりとなる南北の直接対話が実現すること、対話では平昌オリンピックに関する実務的な協議にとどまらず、核、ミサイル問題など朝鮮半島情勢全般についても話し合われるということが報じられた。また、南北の直接対話を巡ってはこれまで懐疑的な姿勢だったトランプ大統領が4日のムンジェンイン大統領との電話会談で一転して支持に回っていてオリンピック期間中の合同軍事演習の先送りでも一致していることも併せて報じられた。このトピックについて当てられた時間は54秒だった。賛否が割れるような報じ方はされておらず、また放送法第四条の観点からも特に問題は見られなかった。

・安倍総理と俳優らとの会食と文化発信

安倍総理は今夜、俳優の津川雅彦さんや中井貴一さんらおよそ20人と夕食をともにしたこと、この席には津川さんの声掛けで米倉涼子さんらも参加したこと、津川さんによると、今年7月にパリで開催される博覧会ジャポニズム2018に関連して安倍総理は東京オリンピックに向け日本の文化を世界に発信していきたいと述べた、とのことが報じられた。またスタジオでは星キャスターが「安倍総理の冬休みを見るとゴルフをしたり映画を鑑賞したりこういう賑やかな会食とか非常に忙しいんですけども、日本のちょっと将来のことをじっくりと静かに思いを巡らせる時間をとってもいいんじゃないかと思えますけどね」とコメントしていた。

このトピックについて当てられた時間は45秒で、賛否が割れるような報じ方はされておらず、また放送法第四条の観点からも特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・働き方改革

スタジオでは星キャスターのコメントについて「猛烈に働いて売上がガンガン伸び出すという時代は終わった」というのは経済や産業といった分野における識者の多くが指摘するところであり「価値観を転換」する必要があるのはもつともであるが、他方で日本の一人あたり GDP や利益率については他の先進諸国に比べて低い水準にある。こうした点を踏まえると、働き方改革を行うためにも賃金の原資となる収益をどのように確保するかという「稼ぎ方改革」が必要であると考えられるが、今回の報道では稼ぎ方についての言及はなく、稼ぎ方にスポットを当てた報道は働き方にスポットを当てた報道に比べて遥かに少ないように感じられる。